



2026年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年8月13日

上場会社名 株式会社 安楽亭

上場取引所 東

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柳 先

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部 次長

(氏名) 町田 英之

TEL 048-859-0555

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	7,467	1.2	285	35.7	257	39.9	78	74.9
2025年3月期第1四半期	7,380	1.7	443	69.9	427	67.4	313	0.8

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 82百万円 (74.3%) 2025年3月期第1四半期 321百万円 (1.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	34.11	—
2025年3月期第1四半期	135.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	23,773	7,439	31.3
2025年3月期	24,253	7,427	30.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 7,439百万円 2025年3月期 7,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行うことが予定されており、2026年3月31日を基準日とする2026年3月期の期末配当は、当該株式分割を反映した株式数を基準としております。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,011	0.2	591	21.0	547	24.0	363	31.1	78.60
通期	30,248	0.3	1,287	11.8	1,200	12.6	793	34.6	171.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2025年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行うことが予定されており、2026年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)				
期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	2,311,434 株	2025年3月期	2,311,434 株
期末自己株式数	2026年3月期1Q	2,346 株	2025年3月期	2,217 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	2,309,140 株	2025年3月期1Q	2,309,308 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、物価上昇による消費者マインドの下振れリスクに加え、中東地域の紛争や米国の関税政策等、国際情勢に対する懸念が強まり、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

外食産業におきましても、物価高が沈静化する兆しが見えないなか消費者の節約意識はさらに強まっており、また、原材料価格やエネルギーコストの高騰、人手不足及び人件費上昇等により厳しい経営環境が継続しております。

このような環境において、当社グループは、経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様の基本ニーズである「安全・安心」に徹底してこだわった「自然肉100%」の商品提供を堅持するとともに、さらなる品質向上のため、日々努力を続けてまいりました。近年、コロナ禍や物価高を経て消費者の意識・行動が大きく変化するなか、お客様に選んでいただける価値ある店づくりのため、コストパフォーマンスや体験価値を追求した販売戦略に力を入れ、新商品の開発や既存メニューのブラッシュアップ等に取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高74億67百万円（対前年同期比1.2%増）、営業利益2億85百万円（対前年同期比35.7%減）、経常利益2億57百万円（対前年同期比39.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益78百万円（対前年同期比74.9%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 安楽亭・七輪房業態

安楽亭・七輪房業態の当第1四半期連結累計期間末の店舗数は163店舗であります。内訳は直営117店舗、暖簾10店舗、F C 36店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「安楽亭」では、お客様が気軽に来店し焼肉を楽しんでいただけるよう、コストパフォーマンスの高いメニューを拡充し、「肉井&焼肉セット」の販売や、「昼も夜もごはん・スーぷおかわり無料」のサービスを開始しております。また、焼肉食べ放題では、ワンランク上のコースの特別なお肉と一緒に楽しめる「ペア焼肉」の仕組みを導入し、食べ放題の楽しみ方のバリエーション拡大に取り組みしました。一方、高付加価値メニューにも力を入れ、黒毛和牛をお得価格でたっぷり堪能できる「黒毛和牛たっぷり満喫ランチ」を店舗限定で販売しました。

「七輪房」においては、黒毛和牛の増量やクーポン限定の黒毛和牛盛合せ皿の販売、銘柄和牛「松阪牛特選カルビ」の全店販売等、品質と美味しさの価値を実感いただける施策を積極的に展開しました。

以上の結果、安楽亭・七輪房業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は27億69百万円（対前年同期比1.2%減）となり、セグメント利益（営業利益）は70百万円（対前年同期比65.4%減）となりました。

② アークミール業態

アークミール業態の当第1四半期連結累計期間末の店舗数は131店舗であります。内訳は直営129店舗、F C 2店舗であります。アークミール業態には、「ステーキのどん」、「しゃぶしゃぶどん亭」、「フォルクス（ステーキ）」を含んでおります。

販売促進及び商品開発につきましては、ステーキのどんの「やみつきラムステーキフェア」の実施、しゃぶしゃぶどん亭の「豚バラとモツの塩にんにく鍋膳」販売、フォルクスの「特選ハラミステーキ」の期間限定販売等、季節感やプレミアム感を打ち出した多彩な施策によって来店促進を図りました。また、DX推進の取り組みとして、各業態の店舗へテーブルオーダータブレットや配膳ロボット導入を進め（配膳ロボットはしゃぶしゃぶどん亭のみ）、お客様サービスの向上とオペレーション効率化を図っております。

以上の結果、アークミール業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は45億88百万円（対前年同期比2.8%増）となり、セグメント利益（営業利益）は3億8百万円（対前年同期比4.4%減）となりました。

③ その他業態

その他業態の当第1四半期連結累計期間末の店舗数は9店舗であります。内訳は直営7店舗、F C 2店舗であります。なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「花炎亭（焼肉）」、「上海菜館（中華）」、「カフェーンズ（喫茶）」、「安楽亭ベトナム（焼肉）」を含んでおります。

その他業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は1億10百万円（対前年同期比2.4%減）となり、セグメント損失（営業損失）は2百万円（前年同期はセグメント利益11百万円）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ4億80百万円減少し、237億73百万円となりました。これは、現金及び預金の減少、売掛金の減少等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ4億92百万円減少し、163億34百万円となりました。これは、借入金の減少、支払手形及び買掛金の減少等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ12百万円増加し、74億39百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加、配当金の支払いによる減少等が要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,191,117	6,797,403
売掛金	1,382,581	1,154,846
商品及び製品	752,787	833,197
仕掛品	8,472	10,634
原材料及び貯蔵品	964,971	962,672
前払費用	321,235	347,331
その他	40,801	47,193
貸倒引当金	△2,430	△2,130
流動資産合計	10,659,537	10,151,151
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,709,337	2,739,410
機械装置及び運搬具（純額）	46,225	47,652
工具、器具及び備品（純額）	543,912	606,148
土地	6,068,882	6,068,882
リース資産（純額）	106,948	110,885
建設仮勘定	6,864	3,633
有形固定資産合計	9,482,170	9,576,614
無形固定資産	588,891	609,491
投資その他の資産		
投資有価証券	185,860	191,726
長期前払費用	54,580	58,519
繰延税金資産	345,743	276,529
敷金及び保証金	2,932,990	2,905,644
その他	27,443	27,443
貸倒引当金	△23,313	△23,313
投資その他の資産合計	3,523,305	3,436,550
固定資産合計	13,594,367	13,622,656
資産合計	24,253,904	23,773,807

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,120,355	879,276
短期借入金	1,934,000	1,934,000
1年内返済予定の長期借入金	1,645,057	1,625,236
リース債務	42,043	44,093
割賦未払金	360,271	379,127
未払金	399,232	389,090
設備関係未払金	64,277	65,580
未払費用	844,004	856,983
未払法人税等	199,107	89,873
未払消費税等	163,672	261,617
賞与引当金	134,000	136,400
店舗閉鎖損失引当金	—	30,753
その他	412,612	423,420
流動負債合計	7,318,635	7,115,452
固定負債		
長期借入金	7,401,769	7,067,392
リース債務	141,498	142,439
長期割賦未払金	733,526	740,686
繰延税金負債	105,886	105,556
役員退職慰労引当金	168,365	171,602
退職給付に係る負債	392,632	391,224
資産除去債務	342,825	342,849
その他	221,500	257,050
固定負債合計	9,508,004	9,218,800
負債合計	16,826,639	16,334,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,790,461	3,790,461
資本剰余金	1,166,680	1,166,680
利益剰余金	2,418,618	2,428,106
自己株式	△13,269	△14,181
株主資本合計	7,362,492	7,371,067
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,569	56,781
為替換算調整勘定	12,892	10,637
退職給付に係る調整累計額	1,311	1,067
その他の包括利益累計額合計	64,773	68,486
純資産合計	7,427,265	7,439,553
負債純資産合計	24,253,904	23,773,807

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	7,380,696	7,467,835
売上原価	2,727,898	2,832,037
売上総利益	4,652,797	4,635,797
販売費及び一般管理費	4,209,481	4,350,578
営業利益	443,316	285,218
営業外収益		
受取利息	286	224
受取配当金	2,205	2,570
受取地代家賃	13,210	13,221
その他	5,845	12,298
営業外収益合計	21,548	28,315
営業外費用		
支払利息	31,289	50,310
賃貸収入原価	3,077	3,074
その他	2,634	2,888
営業外費用合計	37,002	56,274
経常利益	427,861	257,260
特別利益		
固定資産売却益	809	318
受取補償金	57,000	—
特別利益合計	57,809	318
特別損失		
固定資産除却損	2,483	1,982
減損損失	—	2,229
賃貸借契約解約損	10,022	35,202
特別損失合計	12,506	39,414
税金等調整前四半期純利益	473,165	218,164
法人税、住民税及び事業税	90,091	70,046
法人税等調整額	69,457	69,353
法人税等合計	159,548	139,399
四半期純利益	313,616	78,764
親会社株主に帰属する四半期純利益	313,616	78,764

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	313,616	78,764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,668	6,212
為替換算調整勘定	2,365	△2,255
退職給付に係る調整額	△213	△244
その他の包括利益合計	7,820	3,712
四半期包括利益	321,436	82,477
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	321,436	82,477

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	安楽亭・七輪房 業態	アークミール 業態	その他業態	計			
売上高							
顧客との契約 から生じる収 益	2,804,381	4,463,636	112,678	7,380,696	7,380,696	—	7,380,696
外部顧客への 売上高	2,804,381	4,463,636	112,678	7,380,696	7,380,696	—	7,380,696
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,804,381	4,463,636	112,678	7,380,696	7,380,696	—	7,380,696
セグメント利益	203,272	322,461	11,415	537,149	537,149	△93,833	443,316

(注) 1. セグメント利益の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	安楽亭・七輪房 業態	アークミール 業態	その他業態	計			
売上高							
顧客との契約 から生じる収 益	2,769,335	4,588,488	110,012	7,467,835	7,467,835	—	7,467,835
外部顧客への 売上高	2,769,335	4,588,488	110,012	7,467,835	7,467,835	—	7,467,835
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,769,335	4,588,488	110,012	7,467,835	7,467,835	—	7,467,835
セグメント利益 又は損失(△)	70,412	308,408	△2,868	375,952	375,952	△90,733	285,218

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭・七輪房業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては2,229千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	174,865千円	180,336千円